

# 令和2年度 第4回福部地域振興会議 次第

日 時 令和2年10月23日(金)  
午後3時00分~  
場 所 国府町コミュニティセンター 会議室

## 1 開 会

## 2 議 題

### (1) 報告事項

福部町洗濯・乾燥施設(クリーンかあちゃん)の廃止について

資料1

### (2) 協議事項

今年度の視察について

資料2

## 3 その他

## 4 閉 会

## 福部地域振興会議参加者一覧

	氏 名	所 属 等	備考
福部地域振興会議委員	南部 敏	福部町区長会長	会長
	上山 弘子	元鳥取県教育委員長	副会長
	坪内 悟	福部まちづくり協議会長	
	宇山 英俊	福部町自主防災会連合会長	
	小谷 孝文	福部地区民生児童委員協議会長	
	岸本 正枝	鳥取市公平委員	
	濱田 香	鳥取市農業委員会会長	
	西尾 祥幸	若手農業生産者代表	
	岩崎 幸子	公募（福部アイデア館管理運営協議会長）	
	谷岡 陽一	公募（福部地区公民館長）	
	加藤 美幸	公募（鳥取県漁協福部支部海女）	
中川 玄洋	公募（特非 学生人材バンク代表理事）		
福部町総合支所	平戸 伊寿美	支所長	
	大島 義典	副支所長兼地域振興課長	
	森 昌彦	産業建設課長	
	湯谷 順子	市民福祉課長	
	河本 秀樹	地域振興課課長補佐	

～ 福部町洗濯・乾燥施設(クリーンかあちゃん)の廃止について～

【施設概要】

区分：農産物加工等施設

名称：鳥取市福部町洗濯・乾燥施設(クリーンかあちゃん) 平成12年3月～

設備：大型洗濯機、乾燥機(各1台)

目的：当時、福部村内に大型洗濯機・乾燥機を設置した施設が無く、「福部町アイデア館(平成10年～)」利用による大量の洗濯物等の洗濯・乾燥に不便を感じているとの要望を受け、単独事業により設置。



【施設廃止の経緯】

・本施設は、隣接する福部町コミュニティセンター(以下、センター)から電気、水道を引いているが、本年12月にセンターが福部町総合支所に併設移転することから、本施設の今後について検討を行ってきた。

・本施設などの農業振興施設は、「鳥取市公共施設の経営方針(H27.2)」で、地元への移管を進め行政による更新は行わないこととしているため、地元関係団体「福部アイデア館管理運営協議会」に移管について打診したが希望は無かった。

・施設継続のためには、電気敷設工事(470千円)、年間維持費(245千円)のほか、機器の老朽化による次回故障発生時の更新費用(両方で3,256千円)が必要となる。

また、開設当時と環境が変わり、近郊に多くの民間コインランドリーが開業している。

・これらの事から、センターの移転に併せ施設を廃止することとしたい。

12月議会で議決後、**12月28日(月)**に廃止予定。

・廃止後の利活用・撤去等については、コミュニティセンター跡地利用計画に併せて検討。



## 令和2年度 福部地域振興会議視察概要について

**1 視察目的**

福部地域振興会議では、平成29年度に「福部町のまちづくり構想」を策定し、現在、地域振興に資する事業を推進している。その一環として、福部町の中心部にある福部駅を活用した地域活性化策を検討しており、今後の参考とするため先進地を視察するもの。

**2 視察先**

- 若桜駅（若桜鉄道）対応者：若桜町役場 車井氏  
隼駅（若桜鉄道）対応者：なし（施設見学のみ）
- 恋山形駅（智頭急行）対応者：智頭急行職員（施設見学のみ）

**3 視察日時**

令和2年11月24日（火）

**【行程】**

支所発 9:30      若桜駅（視察）10:30～10:45      若桜町役場（視察）10:55～11:40  
    昼食（HOME8823）12:05～12:50      隼駅（視察）12:50～13:05  
    恋山形駅（視察）13:45～14:15      支所着 15:15

**4 当日の流れ**

- ・若桜駅：施設見学      若桜町役場にて概要説明、質疑応答
- ・隼駅：施設見学
- ・恋山形駅：施設見学

■質問事項

[ 若 桜 駅 ]

1 駅舎について

(1) 管理運営、経費等について	回答	回答内容
① 駅舎の管理運営は若桜町、若桜鉄道のどちらがされていますか？	町	駅舎は上下分離の際に若桜鉄道から町に無償譲渡されたもので、現在は若桜町が管理しています。ただし、若桜鉄道（株）が事務所として利用している部分については若桜鉄道が管理、店舗部分については町が指定管理者に委託し管理運営していただいています。損害賠償保険等は町で加入しています。
② 駅舎を活用した収入はありますか？	町	駅舎内に整備している「わかさカフェ」は現在指定管理者の町内企業がテイクアウト専門店として運営していますが、町の直接的な収入となるものではありません。駅舎を改修してから、若桜鉄道の観光列車同様、見学においでになる観光客の方はありますが、直接的な収入があるわけではありません。
③ 年間維持経費を教えてください。	町	店舗（わかさカフェ）の指定管理料：年間240万円 店舗等の光熱水費：月約1万円 等
④ 課題問題点はありますか？	町	駅舎については、国の登録有形文化財であるため現状を大きく変更することなく維持していく必要があります。そのため、外観を変えるような改修等は教育委員会をはじめ県や国とも協議が必要となっています。また、店舗（わかさカフェ）については、利用客の大半が地元ではなく観光客であるため、今回のコロナ禍による集客減は大きな損失となっています。今後続くであろうウィズコロナの中、どのように集客を確保し伸ばしていくのが課題の一つです。
⑤ この度の改修に至った経緯、予算額、財源を教えてください。	町	<p>【経緯】 若桜町・八頭町で、国の推進交付金を活用し、若桜鉄道沿線の駅舎のレトロ化に着手。その中で、若桜駅についてはデザイナー水戸岡鋭治さんの提案で古い駅舎を生かした改修をすることになりました。</p> <p>【予算額】</p> <p>総事業費：約28,653千円</p> <p>財源： 地方創生拠点整備交付金 9,102千円 地方創生推進交付金 2,160千円 一般補助施設整備等事業債 9,100千円 一般財源 8,291千円</p>

## (2) 企画・運営について

①企画・運営を主体的に決定しているのは町ですか、または別組織ですか？	町	今回行った駅舎改修については、概ね所有者である若桜町で決定し実施したものです。若桜鉄道運行対策室（八頭町・若桜町・若桜鉄道）の中でも情報共有はしています。
②意思決定の流れ		
・予算の決め方について教えてください。	町	担当課内で協議の上、予算要求をしています。（今回の駅舎改修については、拠点整備及び推進交付金を活用したことから、課内の交付金担当と協議を重ねています。）
・事業の進め方について教えてください。	町	若桜鉄道に係る事業については、八頭町・若桜鉄道と協議しながら進めています。3者が協力して実施するもの、3者がそれぞれ実施するもの、その内容により様々です。

## 2 イベントについて

(1) 開催状況について教えてください。	町	若桜鉄道の利用促進を目的に、例年2回（春と秋）程度駅前広場周辺でイベントを開催しています。その他、八頭町・若桜町・若桜鉄道で協力したイベントなども実施しています。
(2) 財源構成について教えてください。	町	若桜町が開催しているものについては若桜町予算で、八頭町・若桜町・若桜鉄道の3者で実施しているものは、八頭町・若桜町の両町で負担している場合が多いです。（八頭町・若桜町で負担する場合は、若桜鉄道の持株按分により八頭49.9%、若桜50.1%としています。）
(3) 効果等について教えてください。	町	駅前でのイベントについては定番イベントとして定着しており、多くの方にご参加いただいています。イベント時には、町内事業所なども出店などにより、ある程度の売上実績を上げておられます。

## [ 若桜鉄道 ]

○若桜鉄道(株)と関係自治体との役割分担について教えてください。	鉄道	関係自治体から若桜鉄道（株）へ保守管理等について委任され、それを若桜鉄道（株）は受託し、運営等通常業務を行っています。（*土地、建物、車両、駅舎、線路等すべては、関係自治体のもの）
○関係自治体との連携・協力について教えてください。	鉄道	毎月1回運営会議を実施し、打ち合わせ協議しながら連携・協力体制をとっています。（*運営会議：若桜町、八頭町、若桜鉄道（株）の3者が出席して実施）